

# 第2期 斜里町スポーツ推進計画

～健康づくりとスポーツ活動の推進～

平成31年度～35年度

(5カ年計画)

斜里町教育委員会



## 目次

<b>はじめに</b>	・・・	1
1. スポーツ推進計画の目的	2. 計画の位置づけ	
3. 計画の内容	4. 上位計画の体系	
<b>第Ⅰ章 斜里町の現状</b>	・・・	5
1. 斜里町の人口推移	2. 斜里町の平均寿命	
3. 斜里町の高齢化率の推移	4. 斜里町の高齢化率の推移予測	
5. 斜里町の児童・生徒の運動能力	6. 成果指標の実績	
7. 斜里町のスポーツ		
(1) スポーツ活動	(2) スポーツ施設	
<b>第Ⅱ章 町民を取り巻く環境</b>	・・・	11
1. 生涯スポーツを取り巻く環境	2. 指導者を取り巻く環境	
3. 施設を取り巻く環境		
<b>第Ⅲ章 スポーツ振興の基本施策</b>	・・・	13
1. 生涯スポーツ推進と交流の実践		
(1) 現状と課題		
(2) 施策	① 幼児・少年、親子を対象とした運動講座の推進	
	② 健康づくりによる地域交流の推進	
	③ スポーツによる地域コミュニティづくりの推進	
	④ スポーツによる共生社会の推進	
(3) 成果指標		
2. 指導者の育成と確保		
(1) 現状と課題		
(2) 施策	① スポーツ指導者育成の支援	
	② 指導技術力向上のための講座の開催	
	③ スポーツによる地域活性化の推進	
(3) 成果指標		
3. 施設設備の整備と維持		
(1) 現状と課題		
(2) 施策	① 施設状況に応じたバリアフリー化の推進	
	② 計画的な改修修繕及び維持管理	
	③ 施設敷地を含めた既存施設の有効活用の推進	
(3) 成果指標		

## はじめに

平成 23 年 6 月に制定されたスポーツ基本法は、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとするとともに、スポーツが青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造等、普段の生活において多面にわたる役割を担うことを明らかにしています。また、スポーツ基本法の理念の実現に向けて、平成 24 年 3 月にスポーツ基本計画が策定され、平成 27 年 10 月に文部科学省の外局としてスポーツ庁が創設されています。平成 29 年 3 月には、スポーツ庁において第 2 期スポーツ基本計画が策定され、スポーツ参画人口を拡大し、「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むことが示されました。

斜里町を見ると、子どもたちの余暇の使い方が変化し、小学生がゲームやネットに依存する傾向が高く、スポーツと触れ合うことや身体を動かすことが減っています。学校における体育の授業は、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図ることを目的としていますが、ライフスタイルの変化等により、児童・生徒の体力・運動能力は、全道平均・全国平均と比較してやや低い傾向にあります。

この間、第 6 次斜里町総合計画をもとに第 4 次斜里町生涯学習推進計画、斜里町スポーツ推進計画(いずれも平成 26 年度～平成 30 年度)を策定して、取組んできているところです。過去 5 年間の活動の検証、評価をもとに、これからの「生涯スポーツ社会」の実現に向けて、ここに第 2 期斜里町スポーツ推進計画を策定します。

### 1. スポーツ推進計画の目的

この計画は、スポーツ基本法(平成 23 年 6 月・文部科学省)の趣旨に基づいて、全ての町民がスポーツに対する理解と価値を共有し、ともに生涯スポーツ社会を実現するために、その方針と施策を明らかにし総合的かつ計画的に推進することを目的とします。

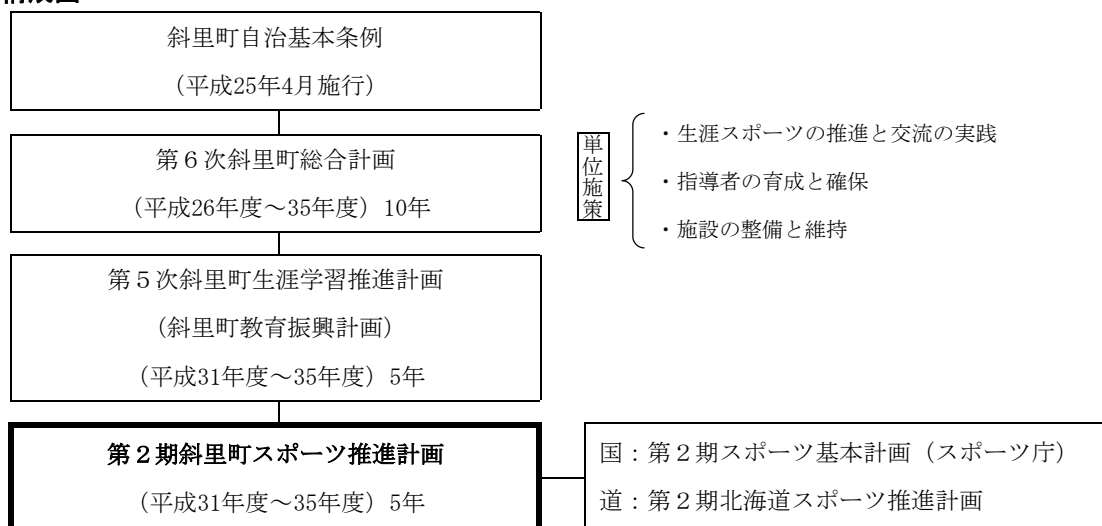
### 2. 計画の位置づけ

この計画の位置付けは以下のとおりとします。

- (1) スポーツ基本法第 10 条により、斜里町がスポーツ・レクリエーション活動を推進するための基本的な方向性を定めるものです。

- (2) 第2期スポーツ基本計画(平成29年3月・スポーツ庁)並びに第2期北海道スポーツ推進計画(平成30年4月・北海道)を踏まえた内容とします。
- (3) 第6次斜里町総合計画をもとに第5次斜里町生涯学習推進計画の下位計画として策定するものです。
- (4) 町民・学校・関係機関やスポーツ関係団体など、地域に関わる全ての人々がスポーツ活動に取り組む方向性を示すための計画です。

#### 構成図



### 3. 計画の内容

- (1) この計画は、斜里町スポーツ推進審議会による協議を経て、斜里町教育委員会が策定します。
- (2) 計画期間は平成31年度から35年度までの5ヵ年とします。
- (3) 計画を着実に推進していくため、「教育行政に関する事務の管理及び執行状況の点検評価」による点検評価を行うとともに、斜里町スポーツ推進審議会においてPDCAサイクルによる進行管理を実施します。

## 4. 上位計画の体系

第6次斜里町総合計画 (平成26年度～35年度)			第5次斜里町生涯学習推進計画 (斜里町教育振興計画) (平成31年度～35年度)	
政策	基本政策	単施策	推進項目	事業内容
地域を育む社会教育活動の推進	健康づくりとスポーツ活動の推進	生涯スポーツ推進と交流の実践	幼児・少年、親子を対象とした運動講座の推進	幼児・少年向け、親子参加型の運動講座により幼児期・少年期からスポーツに親しむ機会を提供し、子どもの体力・運動能力の向上を図ります。
			健康づくりによる地域交流の推進	成人期・高齢期のライフステージの特性に応じた講座等を通じて、地域や学校と連携しながら健康づくりや地域交流を推進するとともに、効果的な情報発信に努めます。
			スポーツによる地域コミュニティづくりの推進	総合型地域スポーツクラブの将来的な導入の可否の検討に向けて、スポーツ少年団への体験入団会の実施などスポーツによる地域コミュニティづくりを推進します。
			スポーツによる共生社会の推進	障害のある人がスポーツに触れ合う機会を創出するとともに、障害のない人による障がい者スポーツ体験教室を開催するなど、障害の有無に関わらず様々な人がスポーツを通じて社会に参画し、ささえあうことができる共生社会の実現を目指します。
		指導者の育成と確保	スポーツ指導者育成の支援	体育協会・スポーツ少年団本部会等への助成を通じて支援を継続し、生涯スポーツ・競技スポーツの指導者育成と確保に努めることにより、競技スポーツの充実を図ります。
			指導技術力向上のための講座の推進	体育協会・スポーツ少年団本部会等への支援を継続し、関係団体と連携しながら、対象とする指導者像を明確にした講座を開催します。
			スポーツによる地域活性化の推進	スポーツ合宿誘致実行委員会等と連携しながら合宿誘致を推進することにより、指導者の育成、競技力の向上に繋げるとともに、スポーツボランティアの育成及びボランティアとの協働を目指し、スポーツによる地域の活性化を図ります。

第6次斜里町総合計画 (平成26年度～35年度)			第5次斜里町生涯学習推進計画 (斜里町教育振興計画) (平成31年度～35年度)	
政策	基本 政策	単位 施策	推進項目	事業内容
		施設設備の整備と維持	施設状況に応じたバリアフリー化の推進	障害のある人や高齢者が利用しやすいよう、施設状況に応じたバリアフリー化を計画的に進めます。
			体育施設の計画的な改修修繕及び維持管理の推進	利用者の安全を第一に考え、緊急性・優先度に応じた年次計画に基づいて、老朽化設備の更新及び改修修繕を進めます。また、総合的な管理体制の構築を図ります。
			施設敷地を含めた既存施設の有効活用の推進	海洋センター体育館周辺敷地を含めた既存施設の有効活用を検討します。

## 第 I 章 斜里町の現状

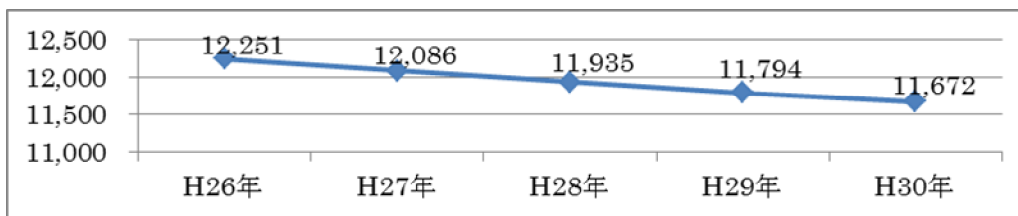
北海道の多くの自治体では人口の流出や高齢化が進行し深刻な課題となっています。斜里町も例外ではなく、人口は年々減少傾向にあり高齢化率も高く推移しています。

また、子どもの体力・運動能力については、中学校男子については全国・全道平均を上回っていますが、小学校男子・女子及び中学校女子については、全国・全道平均を下回る結果となっています。

### 1. 斜里町の人口推移

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
斜里町	12,251	12,086	11,935	11,794	11,672

町内地域別人口集計から（単位：人）



### 2. 斜里町の平均寿命

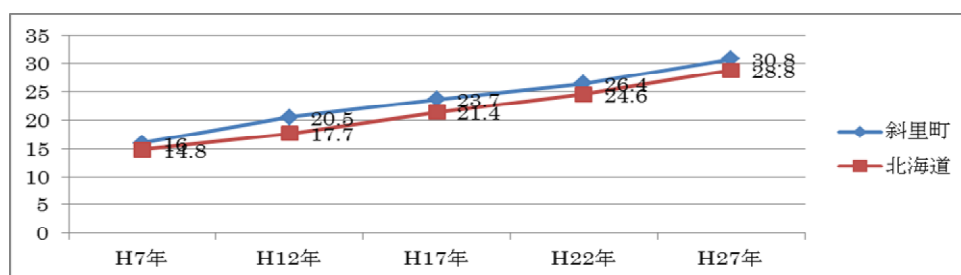
		H17年	H22年	H27年
斜里町	男性	78.2	79.0	79.6
北海道	男性	78.3	79.2	80.3
斜里町	女性	86.1	86.7	87.5
北海道	女性	85.8	86.3	86.8

斜里町保健統計（5年ごと）（単位：歳）

### 3. 斜里町の高齢化率の推移

	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年
斜里町	16.0	20.5	23.7	26.4	30.8
北海道	14.8	17.7	21.4	24.6	28.8

斜里町保健統計（5年ごと）（単位：%）



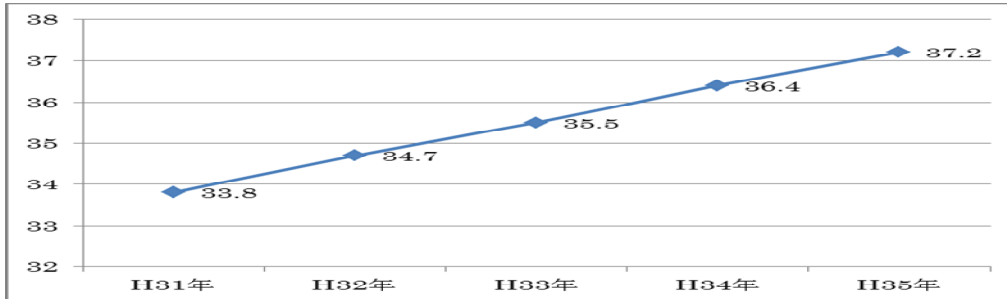
注) 高齢化率とは、斜里町の65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合



4. 斜里町の高齢化率の推移予測

	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年
斜里町	33.8	34.7	35.5	36.4	37.2

第7期介護保険事業計画から（単位：％）



5. 斜里町の児童・生徒の運動能力（平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 北海道における調査結果から）

実技に関する調査結果（小学生）

小学校 5年 男子	種目別平均								体 力 合計点
	握 力 (kg)	上 体 起こし (回)	長 座 体前屈 (cm)	反 復 横とび (点)	20m シャト ルラン (回)	50m 走 (秒)	立 ち 幅とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	
斜里町	18.00	20.13	36.75	39.74	45.15	10.02	149.92	20.85	52.49
北海道	17.44	19.67	32.94	42.59	49.36	9.61	152.06	23.19	53.95
全 国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16

※体力合計点：8種目の体力テスト成績を1点から10点までに得点化して総和した体力テスト合計得点

※握力など3種目では、全道・全国平均を上回る結果ですが、合計点では全国平均を下回る結果となっています。

小学校 5年 男子	総合評価段階別 (%)				
	A	B	C	D	E
斜里町	7.5	22.6	34.0	26.4	9.4
北海道	13.8	24.4	31.0	20.0	11.4
全 国	12.5	25.5	33.2	20.1	8.8

※総合評価：体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価。端数があり、百分率の合計が100%にならないことがある。

※全道・全国に比べると、運動能力の良いAが少なく、やや劣っているDが多い結果となっています。

小学校 5年 女子	種目別平均								体 力 合計点
	握 力 (kg)	上 体 起こし (回)	長 座 体前屈 (cm)	反 復 横とび (点)	20m シャト ルラン (回)	50m 走 (秒)	立 ち 幅とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	
斜里町	16.91	<b>19.02</b>	<b>41.12</b>	38.84	38.84	10.09	142.44	<b>14.47</b>	54.67
北海道	16.95	18.29	37.06	40.53	38.64	9.80	145.58	14.45	55.23
全 国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72

※上体起こしなどの3種目では、全道・全国平均を上回る結果ですが、合計点では全国・全道平均を下回る結果となっています。

小学校 5年 女子	総合評価段階別 (%)				
	A	B	C	D	E
斜里町	11.6	23.3	39.5	18.6	7.0
北海道	16.4	25.2	32.8	18.6	7.0
全 国	16.0	27.4	33.6	17.6	5.5

※全国・全道に比べると、運動能力の良いAが少なく、普通Cが多い結果となっています。

### 体格と肥満度に関する調査結果

小学校 5年 男子	身長(cm)	体重(kg)	肥満児・痩身児の出現率(%)		
	平均値	平均値	瘦 身	正 常	肥 満
斜里町	137.9	37.0	2.6	71.1	<b>26.3</b>
北海道	139.5	35.4	2.5	83.2	14.3
全 国	138.8	34.1	2.7	87.3	10.0

※正常が少なく、肥満の割合が非常に高い状況です。

小学校 5年 女子	身長(cm)	体重(kg)	肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)		
	平均値	平均値	瘦 身	正 常	肥 満
斜里町	138.9	34.8	0.0	82.1	<b>18.0</b>
北海道	140.7	34.8	3.0	86.8	10.3
全 国	140.0	33.9	2.7	89.7	7.7

※痩身・正常が少なく、肥満の割合が非常に高い現状です。

実技に関する調査結果（中学生）

中学校 2年 男子	種目別平均								体力 合計点
	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	
斜里町	<b>32.63</b>	27.16	<b>43.49</b>	<b>53.73</b>	78.42	<b>7.98</b>	<b>202.48</b>	20.47	<b>42.65</b>
北海道	29.73	26.87	41.88	50.87	81.75	8.14	194.91	20.48	41.19
全国	28.89	27.45	43.20	51.89	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11

※握力など5種目で全道・全国平均を上回っており、合計点でも全国・全道平均を上回る結果となっています。

中学校 2年 男子	総合評価段階別 (%)				
	A	B	C	D	E
斜里町	<b>8.3</b>	25.0	39.6	22.9	<b>4.2</b>
北海道	6.5	25.2	36.7	23.3	8.3
全国	7.9	26.2	37.6	21.7	6.6

※全国・全道に比べると、運動能力の良いAが多く、劣っているEが少ない結果となっています。斜里町の小学5年生男子に比べ、A・B・Cが多くなっています。

中学校 2年 女子	種目別平均								体力 合計点
	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	
斜里町	<b>25.80</b>	19.08	<b>46.33</b>	45.03	43.73	8.80	164.88	11.39	45.47
北海道	23.61	21.90	44.05	45.03	51.79	9.03	164.14	12.38	46.59
全国	23.82	23.73	45.86	46.76	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97

※握力・長座体前屈は全道・全国平均を上回る結果ですが、合計点では全国・全道平均を下回る結果となっています。

中学校 2年女子	総合評価段階別 (%)				
	A	B	C	D	E
斜里町	22.2	27.8	25.0	<b>22.2</b>	2.8
北海道	21.1	29.9	29.4	15.5	4.2
全国	30.5	32.4	25.2	10.0	1.9

※全国・全道に比べると、やや劣っているDが極端に多い結果となっています。斜里町の小学5年生女子と比べ、A・Bが多く、C・D・Eが少なくなっています。

体格と肥満度に関する調査結果

中学校 2年 男子	身長(cm)	体重(kg)	肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)		
	平均値	平均値	瘦身	正常	肥満
斜里町	159.6	49.7	<b>5.3</b>	89.5	<b>5.2</b>
北海道	161.3	50.2	2.9	87.3	9.8
全 国	159.9	48.5	2.5	89.8	7.6

※肥満の割合が低い状況です。斜里町の小学5年生男子に比べ、肥満度は少ない。

中学校 2年 女子	身長(cm)	体重(kg)	肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)		
	平均値	平均値	瘦身	正常	肥満
斜里町	154.6	49.7	<b>0.0</b>	87.5	<b>12.5</b>
北海道	155.4	47.0	4.2	88.7	7.2
全 国	154.8	46.7	3.9	89.6	6.5

※肥満の割合が高い状況です。斜里町の小学5年生女子に比べ、肥満度は少ない。

6. 成果指標の実績

成果指標の名称		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
生涯スポーツ・健康づくり講座数 (単位：件)	計画	3	3	5	5	8	8
	実績	6	9	11	11	12	12
競技スポーツ講座数 (単位：件)	計画	2	2	3	3	4	4
	実績	4	3	3	5	4	4
公共体育施設の利用人数 (体育館・プール・学校開放等の全利用者数) (単位：人)	計画	81,786	81,800	81,900	81,900	82,000	82,000
	実績	81,455	78,795	80,337	79,089	76,235	66,224

※平成30年度の実績は推計値です。

## 7. 斜里町のスポーツ

### (1) スポーツ活動

斜里町のスポーツは、昭和 28 年 8 月 1 日に町内五つのスポーツ愛好団体によって、斜里町体育協会が設立され本格的な組織活動がスタートしました。斜里町体育協会は、その後、加盟団体数が増加し平成 10 年前後の 19 団体がピークとなり、平成 30 年度は加盟 15 団体、636 名が登録しています。体育協会独自事業として「斜里町体育の日体力測定」や「研修事業」などを行い、スポーツ発展に中心的な役割を果たしています。

斜里町スポーツ少年団活動は、昭和 52 年に活動が始まり平成 30 年度は 12 団体 390 名が登録しています。斜里町スポーツ少年団本部会では指導者養成事業の他に「10000 歩マーチ」など町民交流事業をとおして少年団活動の普及啓発に取り組んでいます。

スポーツ団体の運動が活発化する中であって、斜里高校バレー部の全国的な活躍によりバレーボールのまち斜里として北海道内外に認知されたことを受けて、昭和 43 年にバレーボールを町技として位置づけ、町民への普及が行われてきました。また、町民バレーボール大会をとおして競技人口の拡大に努めるとともに、近年ではバレーボール協会が主催し、バレーボールVプレミアリーグで活躍するチームの親善試合を招致するなどの活動につながっています。

これらによって、斜里町のスポーツ愛好者や競技人口の底辺拡大につながり、全国で活躍する選手やチームを輩出するとともに、世界的な大会等で活躍する選手も輩出しました。

### (2) スポーツ施設

斜里町のスポーツ施設の整備は、各団体の活動を背景に昭和 40 年代前半から陸上競技場をはじめとするスポーツ施設の整備が始まり、昭和 50 年代には町民公園の体育施設が計画的に整備されてきました。昭和 57 年には B & G 海洋センター体育館とプールを招致し、海洋性スポーツの推進を図ってきました。

平成に入ってから、生涯スポーツの推進と健康増進のため、高齢者健康増進センターやパークゴルフ場の整備に着手した他、日本の伝統的な「剣道・柔道・弓道」振興に努めるための武道館の建設を行いました。

また、総合体育館の建設には至りませんでした。効率的な活用の観点から、町内各学校の体育館を開放するなど限られた施設を最大限に利用する環境づくりに努めてきました。

しかし、近年ではスポーツ施設全体の老朽化が著しく、経年劣化に応じた適切な維持管理や改修が必要となっています。

## 第Ⅱ章 町民を取り巻く環境

### 1. 生涯スポーツを取り巻く環境

地域における組織的なスポーツ活動として、様々なスポーツ団体や少年団、学校の部活動が中心的な役割を担っています。その他に、新たな団体活動(ランニング団体、HIPHOP ダンスサークルなど)や、個人としてスポーツを楽しむ町民(ウォーキング愛好者など)が増えてきました。

子どもを取り巻く環境は、ライフスタイルの変化に伴う屋外遊びの減少など、積極的にスポーツに取り組む姿勢は多くない状況です。成人期においては、積極的にスポーツに励む人がある一方で、仕事や子育てのために時間がとられ、したくてもできない状況にある人もいます。また見るスポーツで満足し、必ずしもするスポーツを必要としない人もいます。高齢期においては、団塊世代に象徴されるように高齢化率が3割を超え、身体的に運動がしづらくなる人が増える傾向にあります。老人クラブなどでは、娯楽性を備えた軽スポーツや保健福祉課と連携した「いきいき百歳体操」を取り入れるなど、健康を最重要視した活動がみられます。一方で、ゲートボール団体の解散、パークゴルフ人口の減少などスポーツから遠ざかる動きがあることも否めません。

また、スポーツ庁では、社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であるとしており、障害のある人など配慮が必要な多様な人がスポーツを通じて社会参画することができるような体制づくりが社会的に求められています。

これらのことから、子ども・成年・高齢者・障害のある人や現在スポーツに触れ合っていない人でも、それぞれの体力・年齢・技術・目的に応じたスポーツに親しむことができるよう、スポーツの場の確保や、斜里町スポーツ推進委員と連携したスポーツとふれ合う機会の一層の充実が重要です。また、スポーツ少年団活動や学校の部活動を通して育った子どもたちが、継続的に町内で活動できる環境づくりが必要であり、各団体の競技人口や会員数を確保することに加え、スポーツを支える地域づくりの検討が必要になっています。

### 2. 指導者を取り巻く環境

町民のスポーツ志向は、気軽に楽しめるスポーツから競技性の高いものまで多岐にわたっています。

競技スポーツにおいては、12のスポーツ少年団と34人の認定指導員(平成30年度時点)が登録されています。認定指導員は増加傾向にあり、比較的充足されている状況にあります。学校のスポーツ系部活動については、競技専門の指導者が不足しており、競技によっては少年団指導員などが外部コーチとして指導している状況

です。

生涯スポーツにおいては、生涯スポーツ各団体の取組として指導者の確保が図られているところですが、生涯スポーツ社会の実現に向けて、継続的な取組を推進していくためには、スポーツ推進委員の確保やスポーツボランティアの育成の検討が必要となっています。

また、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現の観点からも、保健や福祉部門と連携した健康づくりに係る指導者の確保は重要性を増しており、啓発や普及活動が重要になっています。

斜里町スポーツ少年団認定指導員登録者数

単位：人

H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
27	26	29	26	29	30	30	30	28	34	34

### 3. 施設を取り巻く環境

これまで体育館・野球場・テニスコート・プール・武道館をはじめ、スキー場やスケートリンクなどの施設の整備を進め、学校開放や閉校校舎利用など既存の施設を活用してきました。

老朽化した体育施設の整備・維持を計画的に進めるため、各スポーツ団体と連携・協力して体育施設に関する情報収集を行う必要があったことから、平成 28 年度に斜里町体育施設等検討町民懇談会を設置しました。この懇談会は平成 29 年度末までの間に 8 回会議を開催し、アンケート等により各スポーツ団体の意向を確認した上で、今後の体育施設の整備・維持に係る課題と方向性について、「体育施設等検討書」にまとめました。

懇談会での検討において、生涯スポーツや健康づくり団体からは一定の満足を得られていますが、体育施設全体の老朽化が著しく、生涯スポーツ・健康増進に係るコア施設がないことから、競技力の向上を目指す団体からは満足度が低いという状況があきらかとなっています。

※資料編「スポーツ施設(公共体育施設)利用状況 P3」参照

## 第三章 スポーツ振興の基本施策

### 1. 生涯スポーツ推進と交流の実践

#### (1) 現状と課題

##### ①児童・生徒の体力・運動能力

・児童・生徒の体力・運動能力は、全道平均・全国平均と比較してやや低い傾向にあり、肥満傾向児の出現率が高い傾向にあります。児童・生徒の体力・運動能力を上げていくため、効果的な取組が必要となっています。

##### ②幼児期・少年期、親子参加型スポーツ

・わんぱく教室、親子参加型わんぱく教室、ハマナスマラソン、おはようランニングなど、子ども向け・親子参加型の講座等を継続して開催しており、子どもの体力向上に向けて一定の成果が出ていることから、効果を検証しながら継続的な取組として実施していく必要があります。

##### ③健康づくりによる地域交流

- ・成人期スポーツは、継続行事等の他にスポーツ講座を企画実施しましたが、単発的な取組に終わっています。今後は家族や仲間と交流しながら参加できる講座に取組み、継続性を高めていきます。
- ・高齢期スポーツは、町民を取り巻く環境でも触れましたが、保健福祉課の協力を得て、受講者から評価の高い体力測定や自治会・老人クラブでの健康づくりを継続して進めていく必要があります。
- ・学校スポーツは、ハマナスマラソンや小学校の体力テストにおいて、連携した取組を行っていますが、児童・生徒の体力・運動能力の向上が図られるよう、より効果的な連携が必要です。
- ・ウィンタースポーツは、ウィンタースポーツ団体との連携により、スキー・スケート教室を毎年開催しており、これらの取組を継続していく必要があります。
- ・ホームページのリニューアルや SNS の活用など、様々な媒体を通じてスポーツに関する情報発信に努めており、今後も効果的な情報発信に努めていく必要があります。

##### ④スポーツによる地域コミュニティづくりの推進

・総合型地域スポーツクラブについて検討を進めていますが、課題が多いことから早期の導入には慎重にならざるを得ず、将来的な導入の可能性の検討を視野に入れて、スポーツによる地域コミュニティづくりを進める必要があります。



### ⑤スポーツによる共生社会の推進

- ・年齢や障害の有無に関わらず様々な人がスポーツを通じて社会に参加し、ささえあう共生社会の実現が求められています。
- ・障がい者スポーツは、情報収集や研修への参加に留まっており、障害のある人がスポーツに触れ合う機会の創出など、具体的な取組が必要となっています。

## (2) 施策

幅広い世代のスポーツ活動の充実と地域の交流を図るため、体育協会や少年団本部会等への助成を通じた支援を継続するとともに、スポーツ団体、学校、地域と連携しながら、以下の取組を推進します。

### ① 幼児・少年、親子を対象とした運動講座の推進

幼児期・少年期からスポーツに親しむことは、子どもの体力・運動能力の向上に資するとともに、基礎運動能力の獲得に繋がります。親子で参加できる機会の提供と参加のきっかけづくりをするとともに、幼児期・少年期からスポーツに対する興味や関心を高め、体力・運動能力向上を目指して継続できる環境を整えます。

#### ア) 親子参加型講座の開催

- ・親子わんぱく教室、おはようランニングなど親子参加型講座を継続して実施します。

#### イ) 幼児期・少年期を対象とした運動講座の開催

- ・町民体育の日や小学生ドッジボール大会、しゃりっこランド玉入れなど、学校、スポーツ団体、スポーツ推進委員、地域と連携したスポーツ交流イベントの開催を支援します。
- ・少年団本部会による冬季体力・運動能力レベルアップ教室や町民水泳大会など、子どもの体力向上に資する事業を支援します。
- ・わんぱく教室の効果を絶えず検証し、必要に応じて見直ししながら、継続します。

### ② 健康づくりによる地域交流の推進

成人期、高齢期ごとのライフステージの特性に応じた講座、寒冷地という地域特性を活かしたウィンタースポーツの振興に向けた講座について、関係団体と連携しながら開催します。

#### ア) 成人期スポーツの振興

- ・町民バレーボール大会など、多くの町民が楽しみながら参加・交流できるイベントを継続して開催

します。

- ・スポーツや体力づくりをテーマとした出前講座を継続して実施し、成人期の体力維持・増進を図るとともに、交流の場を提供します。
- ・保健福祉課と連携し、特定健康診査によるスクリーニングにより、運動に関する保健指導が必要とされた方などを対象とした運動講座を開催し、健康増進を図ります。
- ・成人期は、多様なライフスタイルや仕事・子育てなどに迫られるなど、スポーツ講座の参加に繋がりにくい側面がありますが、テーマや対象者を明確化し、新たな参加者層を掘り起こしながら、多様な人が参加できるよう成人向け講座を企画実施します。

#### イ) 高齢期スポーツの振興

- ・出前講座や健康まつりでの体力測定などを通じて、スポーツや健康づくりの必要性について普及啓発を進めます。
- ・生きがい大学(海洋センター課程)や出前講座を通じて、高齢者の体力維持・増進、健康づくりを進めるとともに、ニュースポーツの普及促進を図ります。
- ・高齢者の健康づくりに高い効果を期待できるいきいき百歳体操について、保健福祉課と連携し、更なる普及に努めます。

#### ウ) 学校スポーツとの連携

- ・体力テストデータの蓄積は、今後の基本施策に活かすための基礎資料として重要であることから、小学校の体力テストの実施に対し、スポーツ推進委員の協力支援を継続して行います。
- ・子どもの体力・運動能力の向上に向けて、小学生ドッジボール大会などのスポーツ交流イベントにおいて、学校との連携を図り、子どもの参加を促します。
- ・体育の授業や部活動スポーツに対し地域人材を紹介するなど、必要に応じて支援を行います。

#### エ) ウィンタースポーツの振興

- ・スキー場、スケートリンクなどウィンタースポーツに親しむ場を確保するとともに、スポーツ団体と連携し、スキー教室・スケート教室などの講座の開催を通じて、ウィンタースポーツの普及及び冬期の体力づくりを推進します。

#### オ) 情報発信

- ・様々な年代の方が気軽にスポーツを楽しみ交流できるよう、おじろ通信、ホームページ、SNS など

様々な媒体による効果的な情報に努めます。

#### カ) その他スポーツの振興

- ・ 出前講座などの場を活用して、ストレッチやレクリエーションの普及に努め、体を動かすことの楽しさを伝え、健康づくりを進めます。
- ・ ウォーキング、登山、ヨガなど、多様化するスポーツ志向に呼応して様々なスポーツ団体、愛好者が存在しますが、地域住民のニーズの把握に努め、必要に応じて支援を行います。

### ③スポーツによる地域コミュニティづくりの推進

総合型地域スポーツクラブとは、行政と連携しながら地域住民が自主的に運営する非営利組織のことで、新たな地域スポーツのあり方として平成 29 年度現在全国で約 3400 のクラブが組織されています。指導者や場所、運営資金の課題はありますが、将来の学校スポーツ系部活動の受け皿としても期待されています。

斜里町では、熱心な指導者の下でスポーツ少年団がそれぞれ活動していることから、今すぐ総合型地域スポーツクラブへ移行することへの町民意識は高まりをみせていないのが現状です。しかし、少子化や指導できる教職員の不足などでスポーツ系部活動そのものが成り立たなくことが考えられ、今後の地域スポーツをどうしていくか、その将来像を検討していく意義は小さくありません。そのため、次の取組を推進することにより、将来的な導入の可能性を検討します。

- ・ 小学生を対象としたスポーツ少年団への体験入団会など、子どもに一定期間さまざまなスポーツを体験できる機会を提供することにより、真に自分に合ったスポーツを見つけられるよう支援します。
- ・ 親子同士の交流または高齢者と児童など多世代交流を目的とした、軽スポーツ・レクリエーション教室を企画実施し、コミュニティづくりを推進します。

### ④ スポーツによる共生社会の推進

年齢や障害の有無に関わらず、すべての人が分け隔てなくスポーツに親しむことで、障害のある人等への理解・共感・敬意が生まれ、心のバリアフリーや共生社会の実現に繋がるといわれています。障害のある人が、スポーツを通じて社会参画することができるよう、次の取組を推進します。

#### ア) 障がい者スポーツの振興

- ・ 障害のある人や障がい者スポーツの特性を理解するため、研修への参加や情報収集を行い、職員の資質の向上に努めます。

- ・障がい者団体と繋がりをつくり、障害のある人と良好な関係性を築いた上で、様々なスポーツ、レクリエーションに触れる機会を提供します。

#### イ) 障がい者スポーツ交流の推進

- ・スポーツ講座等において、障害のない人が障害のある人を疑似体験できるような機会をつくり、障害のない人が障がい者スポーツに共感をもてるような環境づくりを進めます。
- ・障害のない人も楽しめるような障がい者スポーツの普及に努め、障害のある人と障害のない人が交流できるような機会づくりに努めます。

### (3) 成果指標

(単位：件)

成果指標の名称		H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年
生涯スポーツ・健康づくり講座数	総合計画	8	8	10	10	12	12
	目標	12	14	16	16	16	16

## 2. 指導者の育成と確保

### (1) 現状と課題

#### ①スポーツ指導者育成の支援

- ・ 体育協会やスポーツ少年団本部会、スポーツ合宿誘致実行委員会において指導者育成事業が進められており、指導者の確保のため引き続き支援していく必要があります。
- ・ 各スポーツ分野から選出されているスポーツ推進委員は、スポーツ指導の役割を担っていることから、資質の向上を図り、スポーツ推進委員会議の運営を引き続き支援していく必要があります

#### ②指導技術力向上のための講座の開催

- ・ 生涯スポーツについては、成人期講座等を通じて指導者の掘り起しを行っており、継続していく必要があります。
- ・ 競技スポーツについては、冬期体力・運動能力レベルアップ教室等にスポーツ団体の指導者が関わり指導力向上に寄与していますが、更に効果的な講座を企画実施していく必要があります。

#### ③スポーツによる地域づくりの推進

- ・ スポーツ合宿誘致実行委員会への助成を通じて、各実行委員会等の尽力により、プロスポーツや陸上競技の合宿誘致に繋がっています。その成果として、町内指導者・競技者との交流を通じて、競技力の底上げや地域活性化に貢献しています。
- ・ 各スポーツ団体の独自ボランティアや地域との協働により大会等の運営や体育施設の維持管理を実施していますが、ボランティア等による講座の開催などボランティアが主体となる活動には至っていません。

### (2) 施策

生涯スポーツ社会の実現には、スポーツ指導者が主体的な役割を担う必要があるため、指導者の育成と確保は重要です。スポーツは競技性が高まるほど専門性が高まり、求められる指導者像も多岐にわたります。そのため、スポーツ指導者育成を担っている団体と役割を分担しながら、効果的かつ総合的に指導者の育成・確保を推進します。また、スポーツを側面で支えるスポーツボランティアの必要性も増しており、スポーツボランティアの育成に向けて検討します。

#### ① スポーツ指導者育成の支援

- ・ 体育協会、スポーツ少年団本部会、スポーツ合宿誘致実行委員会など、スポーツ指導者育成に関わ

る事業を実施している団体に対して助成を通じた支援を継続します。

- ・各スポーツ分野から選出されているスポーツ推進委員は、各スポーツ講座・教室の実施協力、体力づくりの普及啓発の他、スポーツ技術指導についても地域で重要な役割を担っています。スポーツ推進委員の研修参加を促進し、絶えず資質の向上を図るとともに、スポーツ推進委員会議の運営を支援し、その活動の充実化を図ります。
- ・地域コーディネーターと連携を図るなどコミュニティスクールの取組を支援し、必要に応じて部活動の外部コーチなど地域人材の紹介を行います。

## ② 指導技術力向上のための講座の開催

### ア) 生涯スポーツ

- ・成人期向け講座などにより、指導者の掘り起しを行います。

### イ) 競技スポーツ

- ・対象とする指導者像を明確にした上で、最新科学の専門家やトップクラスの指導者などから直接指導を受けられる機会を提供します。
- ・冬期体力・運動能力レベルアップ教室は、新しいスポーツ知見を反映させて常時内容の改善を図っており、子どもの体力づくりだけではなく、指導者の育成にも貢献していることから、継続して支援します。

## ③ スポーツによる地域活性化の推進

- ・スポーツ合宿の誘致により、プロスポーツ選手などスポーツの専門家との交流により競技力の底上げが図られるとともに、人と人との交流を通じて地域の活性化が図られることから、スポーツ合宿誘致実行委員会への支援を継続し、合宿誘致を推進します。
- ・スポーツボランティア育成の機運醸成には、スポーツ観戦が有効であるといわれており、スポーツイベント情報やスポーツの楽しさをこまめに発信し、スポーツ観戦を促します。また、スポーツボランティアが活躍できる機会を検討し、スポーツボランティアの育成に努めます。

## (3) 成果指標

(単位：件)

成果指標の名称		H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年
競技スポーツ講座数	総合計画	4	4	5	5	6	6
	目標	4	4	5	5	6	6

成果指標の名称		H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年
スポーツ少年団認定指導員登録者数	目標	34	34	34	34	34	34

### 3. 施設設備の整備と維持

#### (1) 現状と課題

##### ①バリアフリー化の推進

- ・ウナベツスキーハウストイレの洋式化や町民公園入口の歩道整備などを実施しました。バリアフリー化については、ニーズを把握した上で、年次計画に基づく整備が必要です。

##### ②計画的な改修修繕及び維持管理

- ・斜里町体育施設等検討町民懇談会によりスポーツ団体の意見を聴取し、体育施設等検討書にまとめました。体育施設は全体的に老朽化しており、優先度に応じた改修・修繕を行っていますが、競技力の向上を目指す利用者の満足には至らない状況です。
- ・体育施設等検討書を踏まえ、利用者の安全を第一に考えた改修修繕のため、年次計画に基づいて実施していく必要があります。
- ・体育施設の管理形態が多様化し、体育施設の維持運営に非効率が生じています。また高齢化等により管理の担い手が不足しているため、総合的な管理体制の構築に向けた検討が必要です。

##### ③施設敷地を含めた既存施設の有効活用の推進

- ・閉校体育館の活用など一部有効利用を図りました。海洋センター体育館周辺敷地については、子どもの雪遊び用スノーパークとして活用を図りましたが定着に至らず、現在はドクターヘリポートとして活用しています。
- ・海洋センター周辺敷地や既存施設の有効活用を引き続き検討し、体育施設サービスの質と機能の向上を図っていく必要があります。

#### (2) 施策

##### ① 施設状況に応じたバリアフリー化の推進

- ・障害のある人や高齢者が利用しやすいよう、施設状況に応じたバリアフリー化を計画的に進めます。

##### ② 体育施設の計画的な改修修繕及び維持管理の推進

- ・体育施設等検討書を踏まえ、利用者の安全を第一に考え、緊急性・優先度に応じた年次計画に基づいて、老朽化設備の更新及び改修修繕を進めます。
- ・体育施設の総合的な管理体制の構築を検討します。



## ③ 施設敷地を含めた既存施設の有効活用の推進

- ・海洋センター体育館周辺敷地を含めた既存施設の有効活用を検討します。
- ・斜里町公共施設等総合管理計画に基づき、海洋センター体育館とプールの共同管理機能への改修を検討します。

## (3) 成果指標

(単位：人)

成果指標の名称		H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年
公共体育施設の利用人数 (体育館・プール・学校開放等の全利用者数)	総合計画	82,000	82,000	82,000	82,000	82,000	82,000
	目標	66,224	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000

資料編

用語の定義・町関連計画

スポーツ施設（公共体育施設）利用状況

体育協会・少年団・学校クラブの加入状況

平成 30 年度町民アンケート満足度と将来重要度

平成 30 年度学校保健統計調査

斜里町体育施設（体育振興係所管分）概要一覧

策定の経過

斜里町スポーツ推進審議会委員名簿

諮問書・答申書

## ～ 用語の定義 ～

本計画における「スポーツ」とは、個人やチームの競技スポーツだけではなく、散歩やジョギングなどの軽い運動や、ハイキングやサイクリングなどの野外活動、身体を動かすレクリエーションも含め、技術レベルや内容、世代に関わらず、身体運動を伴うすべてを含むものとして定義します。なお、目的により、競技スポーツ、生涯スポーツ、地域スポーツ、学校スポーツなどに区分します。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">運 動</div>	<p>軽い体操や散歩、健康のために行う身体活動を意味します。 本計画では、これを「スポーツ」に含めます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">レクリエーション</div>	<p>もともとは疲労からの回復、娯楽の意味合いが強い言葉でしたが、現在では休養から身体活動を通じた自己実現まで幅広い意味で用いられます。 本計画では、特に身体を動かす（フィジカルな）レクリエーションについては「スポーツ」に含めます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">体 育</div>	<p>運動など体を動かす身体活動により、健康の保持・増進と体力の向上をはかるための教育活動を意味します。</p>

### ■町関連計画

- 第2期 斜里町健康増進計画
- 第5期 斜里町障がい者計画・障がい福祉計画
- 第7期 斜里町高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- 斜里町子ども・子育て支援事業計画

## ■スポーツ施設（公共体育施設）利用状況

施設名		H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(推計)
海洋センター体育館		15,022	14,972	16,024	17,744	16,418	16,729
プール	海洋センター	9,742	9,636	8,277	8,420	8,871	5,029
	ウトロ	1,647	1,018	1,027	1,217	1,229	1,124
	計	11,389	10,654	9,304	9,637	10,100	6,153
武道館	柔道場	2,620	3,602	3,315	3,266	1,932	1,294
	剣道場	4,355	4,042	4,311	4,261	4,137	3,516
	弓道場	2,307	2,180	1,625	1,125	1,419	3,130
	交流室	13	0	17	157	2,496	87
	計	9,295	9,824	9,268	8,809	9,984	8,027
赤木体育館		3,235	621	—	—	—	—
町営球場	日昼利用	2,339	2,209	1,988	1,447	1,070	1,259
	ナイター利用	959	802	881	518	660	589
	計	3,298	3,011	2,869	1,965	1,730	1,848
テニスコート	日昼利用	417	433	2,449	682	527	292
	ナイター利用	486	648	0	632	537	511
	計	903	1,081	2,449	1,314	1,064	803
陸上競技場		1,950	2,016	1,808	1,939	1,893	1,059
学校開放	斜里小学校	1,749	1,476	1,565	1,880	1,603	2,228
	朝日小学校	3,149	2,853	3,649	2,882	2,557	2,753
	斜里中学校	5,298	4,306	5,091	6,231	6,612	6,258
	ウトロ	707	449	568	1,421	1,178	1,319
	計	10,903	9,084	10,873	12,414	11,950	12,558
中学校	スケート	4,778	3,514	4,395	4,937	5,412	4,915
	ナイター利用	2,935	6,402	3,241	3,820	1,746	2,935
	計	7,713	9,916	7,636	8,757	7,158	7,850
パークゴルフ場		16,045	15,900	18,149	14,551	13,768	9,168
ウトロスキー場		1,702	1,716	1,957	1,959	2,170	2,029
合計		81,455	78,795	80,337	79,089	76,235	66,224

### ※スキーリフト・ロープトウ利用者数

ウナベツスキーリフト	76,186	64,353	57,334	54,893	40,990	51,072
ウトロスキーロープトウ	7,899	11,255	10,884	11,688	9,875	10,816

## ■体育協会・少年団・学校クラブの加入状況

H30年斜里町体育協会		H30年斜里町スポーツ少年団	
単協名	人数	団体名	人数
スキー協会	34	斜里スキー少年団	64
水泳連盟	21	斜里水泳少年団	67
柔道協会	11	斜里柔道少年団	12
野球連盟	170	知床斜里野球少年団	20
スケート協会	29	斜里バレーボール少年団	7
バレーボール協会	81	卓球少年団	16
卓球協会	22	トリニティー	13
サッカー協会	39	斜里サッカー少年団	58
剣道連盟	10	斜里無心剣道少年団	13
バスケットボール協会	12	斜里ミニバスケットボール少年団	35
テニス協会	42	斜里ジュニアバドミントン少年団	24
バドミントン協会	16	知床斜里ランニングクラブ	61
山岳会	38		
弓道会	37		
パークゴルフ協会	74		
合計	636	合計	390

斜里町体育協会 (過去10年間推移)				斜里町スポーツ少年団 (過去10年間推移)			
年度	団体数	会員数	前年差	年度	団体数	会員数	前年差
H21年	17	859	15	H21年	13	402	△23
H22年	17	764	△95	H22年	13	358	△44
H23年	17	714	△50	H23年	12	369	11
H24年	17	724	10	H24年	12	387	18
H25年	16	689	△35	H25年	12	390	3
H26年	16	662	△27	H26年	13	400	10
H27年	16	670	8	H27年	13	414	14
H28年	16	655	△15	H28年	11	337	△77
H29年	15	636	△19	H29年	12	375	38
H30年	15	636	0	H30年	12	390	15

H25年町内中学校スポーツ系部活動		
部活名	斜里 (人)	ウトロ (人)
野球部	19	
男子バスケットボール部	14	
女子バスケットボール部	9	
男子バレーボール部	13	
女子バレーボール部	25	
男子バドミントン部	23	9
女子バドミントン部	24	3
男子卓球部	19	
女子卓球部	7	
サッカー部	35	
陸上部	20	4
男子	137	12
女子	71	4
スポーツ系部活動加入者	208	16
全校生徒数	291	17
スポーツ系部活動加入状況	71%	94%

H30年町内中学校スポーツ系部活動		
部活名	斜里 (人)	ウトロ (人)
野球部	14	
男子バスケットボール部	12	
女子バスケットボール部	12	
男子バレーボール部	10	
女子バレーボール部	8	
男子バドミントン部	18	2
女子バドミントン部	13	3
男子卓球部	19	
女子卓球部	3	
サッカー部	14	
陸上部	18	4
男子	100	4
女子	41	5
スポーツ系部活動加入者	141	9
全校生徒数	252	14
スポーツ系部活動加入状況	56%	64%

H25 年斜里高校スポーツ系部活動	
部活名	斜里 (人)
野球部	15
男子バスケットボール部	14
女子バスケットボール部	11
男子バレーボール部	5
女子バレーボール部	6
男子バドミントン部	8
女子バドミントン部	2
男子卓球部	8
女子卓球部	
サッカー部	24
陸上部	12
テニス部	14
弓道部	14
柔道部	3
男子	93
女子	43
スポーツ系部活動加入者	136
全校生徒数	238
スポーツ系部活動加入状況	57%

H30 年斜里高校スポーツ系部活動	
部活名	斜里 (人)
野球部	1
男子バスケットボール部	0
女子バスケットボール部	9
男子バレーボール部	12
女子バレーボール部	0
男子バドミントン部	6
女子バドミントン部	1
男子卓球	2
女子卓球部	0
サッカー部	6
陸上部	6
テニス部	7
弓道部	14
柔道部	0
男子	39
女子	25
スポーツ系部活動加入者	64
全校生徒数	132
スポーツ系部活動加入状況	48%

## ■平成 30 年度学校保健統計調査（5 歳～15 歳）※全国値は平成 29 年度学校保健統計による

### ○男子身長平均

	5 歳 (年長)	6 歳 (小 1)	7 歳 (小 2)	8 歳 (小 3)	9 歳 (小 4)	10 歳 (小 5)	11 歳 (小 6)	12 歳 (中 1)	13 歳 (中 2)	14 歳 (中 3)
斜里町	<b>110.2</b>	<b>117.2</b>	<b>122.8</b>	<b>128.5</b>	<b>133.3</b>	<b>137.9</b>	<b>143.9</b>	<b>153.6</b>	<b>159.6</b>	<b>166.6</b>
全 国	110.3	116.5	122.5	128.2	133.5	139.0	145.0	152.8	160.0	165.3

※5・9・10・11・13 歳で平均以下

### ○男子体重平均

	5 歳 (年長)	6 歳 (小 1)	7 歳 (小 2)	8 歳 (小 3)	9 歳 (小 4)	10 歳 (小 5)	11 歳 (小 6)	12 歳 (中 1)	13 歳 (中 2)	14 歳 (中 3)
斜里町	<b>18.6</b>	<b>22.0</b>	<b>25.4</b>	<b>28.6</b>	<b>31.1</b>	<b>37.0</b>	<b>40.0</b>	<b>45.0</b>	<b>49.7</b>	<b>58.1</b>
全 国	18.9	21.4	24.1	27.2	30.5	34.2	38.2	44.0	49.0	53.9

※5 歳以外の全てで平均以上

### ○女子身長平均

	5 歳 (年長)	6 歳 (小 1)	7 歳 (小 2)	8 歳 (小 3)	9 歳 (小 4)	10 歳 (小 5)	11 歳 (小 6)	12 歳 (中 1)	13 歳 (中 2)	14 歳 (中 3)
斜里町	<b>110.9</b>	<b>115.9</b>	<b>122.9</b>	<b>127.1</b>	<b>135.0</b>	<b>138.9</b>	<b>147.5</b>	<b>151.7</b>	<b>154.6</b>	<b>156.1</b>
全 国	109.3	115.7	121.5	127.3	133.4	140.1	146.7	151.8	154.9	156.5

※8・10・12・13・14 歳で平均以下

### ○女子体重平均

	5 歳 (年長)	6 歳 (小 1)	7 歳 (小 2)	8 歳 (小 3)	9 歳 (小 4)	10 歳 (小 5)	11 歳 (小 6)	12 歳 (中 1)	13 歳 (中 2)	14 歳 (中 3)
斜里町	<b>19.2</b>	<b>21.8</b>	<b>24.1</b>	<b>27.7</b>	<b>31.8</b>	<b>34.8</b>	<b>39.3</b>	<b>49.1</b>	<b>49.7</b>	<b>51.4</b>
全 国	18.5	21.0	23.5	26.4	29.9	34.0	39.0	43.6	47.2	50.0

※全年齢で平均以上



## ○肥満傾向の出現率（男女全体）

（※斜里町はH30年、全国はH29年調査）

	5歳 (年長)	6歳 (小1)	7歳 (小2)	8歳 (小3)	9歳 (小4)	10歳 (小5)	11歳 (小6)	12歳 (中1)	13歳 (中2)	14歳 (中3)
斜里町 (H30)	2.22%	2.75%	9.89%	13.41%	17.28%	22.08%	18.29%	16.25%	8.97%	14.46%
全国 (H29)	2.73%	4.40%	5.45%	6.90%	8.63%	8.89%	9.22%	8.97%	8.09%	7.53%

※5・6歳以外の年齢で全国平均以上

## ○痩身傾向の出現率（男女全体）

（※斜里町はH30年、全国はH29年調査）

	5歳 (年長)	6歳 (小1)	7歳 (小2)	8歳 (小3)	9歳 (小4)	10歳 (小5)	11歳 (小6)	12歳 (中1)	13歳 (中2)	14歳 (中3)
斜里町 (H30)	0.00%	0.00%	0.00%	2.44%	2.47%	1.30%	4.88%	0.00%	2.56%	0.00%
全国 (H29)	0.31%	0.55%	0.57%	1.01%	1.71%	2.55%	2.90%	3.64%	2.95%	2.32%

※8・9・11歳で平均以上

## ■全国・全道「身長・体重」比較表（男子）

		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	対前年比較	
		全国 平均	全道 平均	全国 平均	全道 平均	全国 平均	全道 平均	斜里町	全国 平均 (H28)	全道 平均 (H28)
体格 平均	身長	159.6	160.1	159.7	161.2	159.9	161.3	<b>159.76</b>	-0.14	-1.54
	体重	48.5	50.1	48.5	50.1	48.5	50.2	<b>51.16</b>	+2.66	+0.96

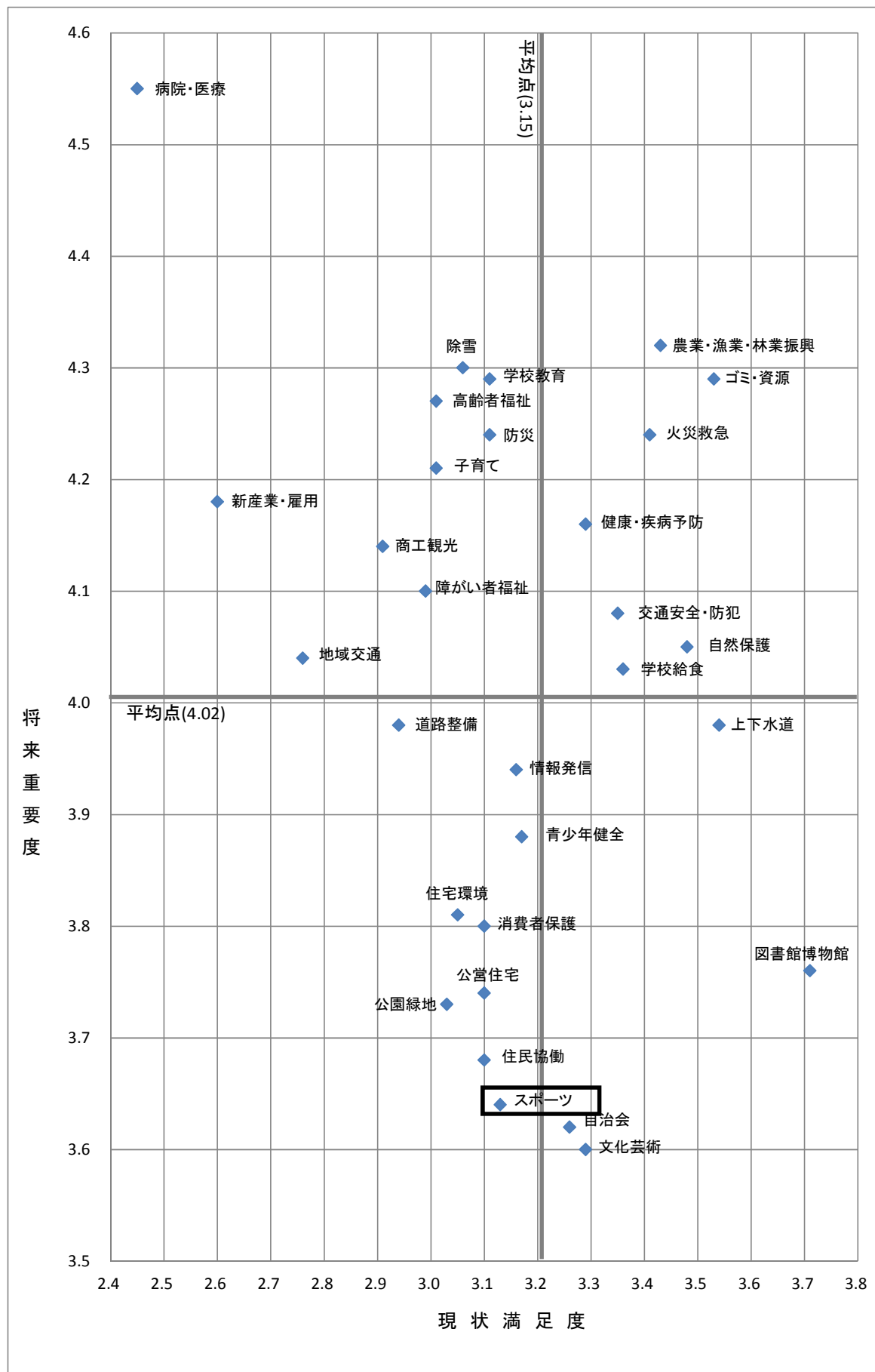
## ■全国・全道「身長・体重」比較表（女子）

		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	対前年比較	
		全国 平均	全道 平均	全国 平均	全道 平均	全国 平均	全道 平均	斜里町	全国 平均 (H28)	全道 平均 (H28)
体格 平均	身長	154.8	155.3	154.8	155.3	154.8	155.3	<b>154.20</b>	-0.60	-1.10
	体重	46.7	47.0	46.8	47.6	46.7	47.0	<b>50.06</b>	+3.36	+3.06

## ■満足度と将来重要度（平成30年度町民アンケート調査による）

＜現状満足度＞				＜今後重要度＞			
順位	項目	平均点	H24	順位	項目	平均点	H24
1	図書館・博物館	3.71	3.15	1	病院・地域医療対策	4.55	4.58
2	上下水道・浄化槽整備	3.54	3.57	2	農業・漁業・林業振興	4.32	4.36
3	ゴミ処理や資源リサイクル対策	3.53	3.62	3	道路の除雪対策	4.30	4.33
4	自然保護や野生動物対策	3.48	3.26	4	学校教育	4.29	4.22
5	農業・漁業・林業振興	3.43	3.25	5	ゴミ処理や資源リサイクル対策	4.29	4.35
6	火災・救急救命対策	3.41	3.32	6	高齢者福祉対策	4.27	4.25
7	学校給食	3.36	3.31	7	火災・救急救命対策	4.24	4.19
8	交通安全・防犯対策	3.35	3.28	8	防災・災害対策	4.24	4.29
9	健康づくり・疾病予防対策	3.29	3.17	9	子育て支援対策	4.21	4.13
10	文化・芸術	3.29	3.25	10	新規産業育成や雇用対策	4.18	4.32
11	自治会活動支援	3.26	3.17	11	健康づくり・疾病予防対策	4.16	4.10
12	青少年の健全育成対策	3.17	3.12	12	商工業・観光業振興	4.14	4.15
13	行政からの情報発信	3.16	3.05	13	障がい者(児)福祉対策	4.10	4.10
14	スポーツ・レクリエーション	3.13	3.11	14	交通安全・防犯対策	4.08	4.04
15	学校教育	3.11	3.03	15	自然保護や野生動物対策	4.05	4.02
16	防災・災害対策	3.11	2.97	16	地域公共交通対策	4.04	3.90
17	消費者保護対策	3.10	3.04	17	学校給食	4.03	3.86
18	公営住宅整備	3.10	2.95	18	上下水道・浄化槽整備	3.98	3.93
19	町政への住民参加・協働の機会	3.10	3.03	19	道路整備	3.98	3.85
20	道路の除雪対策	3.06	2.77	20	行政からの情報発信	3.94	3.95
21	住宅環境整備	3.05	3.00	21	青少年の健全育成対策	3.88	3.82
22	公園や緑地・街路樹整備	3.03	3.09	22	住宅環境整備	3.81	3.73
23	子育て支援対策	3.01	3.02	23	消費者保護対策	3.80	3.75
24	高齢者福祉対策	3.01	2.91	24	図書館・博物館	3.76	3.74
25	障がい者(児)福祉対策	2.99	2.95	25	公営住宅整備	3.74	3.74
26	道路整備	2.94	3.03	26	公園や緑地・街路樹整備	3.73	3.56
27	商工業・観光業振興	2.91	2.87	27	町政への住民参加・協働の機会	3.68	3.66
28	地域公共交通対策	2.76	2.87	28	スポーツ・レクリエーション	3.64	3.56
29	新規産業育成や雇用対策	2.60	2.41	29	自治会活動支援	3.62	3.62
30	病院・地域医療対策	2.45	2.38	30	文化・芸術	3.60	3.52

### ■満足度と将来重要度（ポジショニングマップ）（平成30年度町民アンケート調査による）



## ■全国、全道比較表「体力・運動能力」(男子)

中学校男子		握力	上体 起し	長座 体前屈	反復 横飛	20m S R u n	50m走	立幅飛	H・B 投げ	合計
		kg	回	Cm	点	回	秒	Cm	M	
全国	29年度	28.89	27.45	43.20	51.89	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11
	28年度	28.91	27.46	43.06	51.93	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
	27年度	28.93	27.43	43.08	51.62	85.56	8.01	194.05	20.65	41.89
	26年度	29.00	27.45	42.92	51.31	85.29	8.03	193.43	20.86	41.74
北海道	29年度	29.73	26.87	41.88	50.87	81.75	8.14	194.91	20.48	41.19
	28年度	29.48	26.64	41.52	49.94	80.85	8.19	193.84	20.24	40.49
	27年度	29.59	26.55	41.62	49.66	79.77	8.21	193.75	20.44	40.10
	26年度	29.49	26.36	41.06	49.04	79.68	8.21	192.21	20.52	39.69
斜里町	29年度	32.63	27.16	43.49	53.73	78.42	7.98	202.48	20.47	42.65
	全国 比較	+3.74	-0.29	+0.29	+1.84	-7.57	-0.01	+7.94	-0.09	+0.54
	全道 比較	+2.90	+0.29	+1.61	+2.86	-3.33	-0.16	+7.57	-0.01	+1.46

## ■全国、全道比較表「体力・運動能力」(女子)

中学校女子		握力	上体 起し	長座 体前屈	反復 横飛	20m SRun	50m走	立幅飛	H・B 投げ	合計
		kg	回	Cm	点	回	秒	Cm	M	
全国	29年度	23.82	23.73	45.86	46.76	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97
	28年度	23.75	23.48	45.46	46.60	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56
	27年度	23.68	23.26	45.53	46.09	58.06	8.84	167.28	12.83	49.08
	26年度	23.70	23.07	45.23	46.61	57.77	8.87	166.53	12.88	48.66
北海道	29年度	23.61	21.90	44.05	45.03	51.79	9.03	164.14	12.38	46.59
	28年度	23.41	21.64	43.92	44.34	50.56	9.07	162.74	12.12	45.72
	27年度	23.40	21.14	43.87	43.41	49.46	9.09	161.77	12.07	44.83
	26年度	23.38	20.79	43.32	42.60	49.04	9.12	160.39	12.09	44.16
斜里町	29年度	25.80	19.08	46.33	45.03	43.73	8.80	164.88	11.39	45.47
	全国 比較	+1.98	-4.65	+0.47	-1.73	-15.41	0	-3.69	-1.57	-4.40
	全道 比較	+2.19	-2.82	+2.28	0	-8.06	-0.23	+0.74	-0.99	-1.12

### ■斜里町体育施設（体育振興係所管分）概要一覧

施設名	海洋センター 体育館	海洋センター プール	武道館	ウトロスキー場
開館年月日	S57. 6. 14	S57. 6. 14	H9. 9. 6	
建設年月日	S57. 5. 30	S57. 5. 30	H9. 8. 25	S44. 2. 1
建築延面積	1. 102, 27 m <sup>2</sup>	125. 18 m <sup>2</sup>	1. 397 m <sup>2</sup>	
規模構造	鉄筋造	鉄骨平屋 アルミプール	鉄骨造平屋建て	全長 450m
所在地	朝日町 20-18	朝日町 20-18	朝日町 20-18	ウトロ香川
電話番号	23-2911	23-1775	23-0345	24-3303
ファックス	23-1077	なし	なし	なし
部屋類	アリーナ 726. 15 m <sup>2</sup> ミーティングルーム 男女更衣室 器具庫 事務室	一般プール 6 コース 25m×13m 水深 1. 0～1. 2m 幼児プール 10m×6m 水深 0. 5～0. 6m 更衣室 シャワー室 事務室	柔剣道場 弓道場 交流室 男女更衣室 シャワー室	ゲレンデ 60. 444 m <sup>2</sup> ヒュッテ 98 m <sup>2</sup> ロープトウ 200m 水洗トイレ 27. 2 m <sup>2</sup> (H21 年新築)
職員配置	職員 2 名 夜間管理委託 2 名	臨時職員 5 名	利用団体自主管理	(委託) 知床スキー場 運営委員会
休館日	年末年始	月曜日	無	無
備考		H24 大規模改修 温泉利用 温風暖房 鉄骨塗装 プール槽塗装 利用期間延長 5月～10月		12月～3月

施設名	ウトロパーク ゴルフ場	ウトロ地域 水泳プール	ウナベツ スキーハウス	町営野球場
開館年月日	H15. 5. 25	H5. 7. 26	H7. 1. 10	
建設年月日	H13. 10. 30			S45. 10. 25
建築延面積		819. 47 m <sup>2</sup>	211. 005 m <sup>2</sup>	
規模構造		鉄骨平屋	木造 2 階建	スタンド除く 27. 119. 12 m <sup>2</sup>
所在地	ウトロ香川	ウトロ香川 134	峰浜 114	朝日町 3
電話番号	なし	24-3303	28-2225	なし
ファックス	なし	なし	28-2225	なし
部屋類	9 ホール 414m 東屋 水洗トイレ (スキー場共用)	一般コース 5 コース 25m×10m 水深 約 1.3m 児童用コース 1 コース 水深 約 0.5m 監視室 事務室 シャワー室 採暖室 更衣室 夜間照明	ハウス木造 2 階建	ダッグアウト 本部室 駐車場 トイレ 物品庫 スコアボード 操作盤 (竣工：H3) ナイター照明 (竣工：H19)
職員配置	(委託) ウトロパーク ゴルフ 運営委員会	臨時職員 3 名	(委託) 知床斜里町 観光協会	(委託) 斜里町野球連盟
休館日	無	月曜日	月曜日	無
備考	5 月～11 月 ウトロスキー場 同一敷地	6 月～9 月	1 月～3 月	5 月～10 月

施設名	町営陸上競技場	町営テニス コート	町営スケート リンク	町民公園 パークゴルフ場
開館年月日	S43. 7. 10	S56. 7. 22	S26. 3. 29	H9. 5. 1
建設年月日		S56. 7. 15		
建築延面積	15. 646 m <sup>2</sup>	2, 104 m <sup>2</sup>		
規模構造	1 周 400m	全天候型 3 面	1 周 400m	
所在地	朝日町 3	朝日町 3	文光町 51	朝日町 3
電話番号	なし	なし	23-1775	090-6218-5187
ファックス	なし	なし	なし	なし
部屋類	管理棟 S58. 8. 30 駐車場 トイレ 物品庫 水飲み場 クロスントリーコース	物品庫 駐車場 トイレ 水飲み場 夜間照明 (竣工 : H4) クラブハウス 更衣室 (竣工 : H18)	管理棟 132. 496 m <sup>2</sup> 休憩室 89. 434 m <sup>2</sup> (竣工 : H3) 物品庫 トイレ 水飲み場 夜間照明 (竣工 : S61)	A コース 9H 462m B コース 9H 465m 管理棟 グリーンハウス 格納庫 物品庫 トイレ 水飲み場
職員配置		利用団体自主管理	臨時職員 4 名	臨時職員 6 名
休館日	無	無	無	木
備考		5 月～11 月	斜里中学校 グラウンド 12 月下旬～2 月	5 月～10 月



施設名	シーサイド パークゴルフ場	学校開放 体育館
開館年月日	H9. 5. 1	
建設年月日		
建築延面積		
規模構造	面積 14,976.7 m <sup>2</sup>	
所在地	朝日町 1	
電話番号	なし	なし
ファックス	なし	なし
部屋類	A コース 9H 420m B コース 9H 412m 休憩棟 (竣工 : H21) 格納庫 (竣工 : H21) 駐車場 水飲み場 トイレ	斜里小学校 1,432 m <sup>2</sup> 朝日小学校 1,220 m <sup>2</sup> 斜里中学校 2,127 m <sup>2</sup> 知床ウトロ学校 950 m <sup>2</sup>
職員配置	臨時職員 6 名	利用団体自主管理  (玄関開錠・施錠) 管理委託 2 名 臨時職員 2 名
休館日	木	日
備考	5 月～10 月 再整備事業 (竣工 : H20)	

## ■策定の経過

## 1. 第2期斜里町スポーツ推進計画の検討経過

## 【スポーツ推進審議会審議状況】

開催回数	斜里町スポーツ推進審議会 (斜里町スポーツ推進計画策定委員)	事務局関係
第1回 平成30年10月16日(火)	*第1期スポーツ推進計画の評価 *意見交換	*趣旨・方針の説明 *関係資料の提示
第2回 平成30年11月15日(木)	*国・道の計画説明 *第2期スポーツ推進計画素案の審議 *意見交換	*計画素案説明 *関係資料の提示
第3回 平成30年12月18日(火)	*第2期スポーツ推進計画原案の諮問・答申	*計画原案説明

## 【事務局日程】

年 月 日	進行予定	備考
平成30年11月21日(水)	*教育委員会議へ計画素案協議	
平成30年12月14日(金)	*町議会定例会(全員協議会)協議	
平成31年1月24日(木)	*教育委員会議へ計画案協議	
平成31年2月1日(金) ～20日(水)	*パブリックコメントの実施	
平成31年3月27日(水)	*教育委員会議にて議決(予定)	

## 斜里町スポーツ推進審議会委員名簿

役職	氏名	団体等	備考
会長	おおもり ひろみ 大森 洋見	識見を有する者	再任
副会長	みうら けんたろう 三浦 賢太郎	識見を有する者(卓球少年団)	再任
委員	きくち りつこ 菊池 律子	識見を有する者	再任
委員	いまい ひではる 今井 秀治	識見を有する者(ウトロ地区) (知床スキー場運営委員会)	再任
委員	もんま てつや 門間 哲也	識見を有する者(体育協会事務局)	再任
委員	いとう まさよし 伊藤 正吉	公募	新任
委員	やまもと せいや 山本 聖也	識見を有する者(ジュニアバドミントンクラブ)	新任

任期：平成 29 年 4 月～平成 31 年 3 月

平成30年12月18日

斜里町スポーツ推進審議会  
会長 大森 洋見 様

斜里町教育委員会  
教育長 村田 良介

第2期 斜里町スポーツ推進計画について（諮問）

下記の案件について、スポーツ基本法第10条及び斜里町スポーツ推進審議会条例第3条に基づき、貴審議会の意見を求めます。

平成30年12月18日

斜里町教育委員会  
教育長 村田 良介 様

斜里町スポーツ推進審議会  
会長 大森 洋見

第2期斜里町スポーツ推進計画（案）の答申について

平成30年12月18日付けで諮問のあった「斜里町スポーツ推進計画」に関し、出席委員で協議を行った結果、原案どおり了承しましたので、答申します。

記

1. 答 申 別紙のとおり